

三輪野山貝塚の年代と変遷表

年代	時期	土器型式名	主な遺構の数	低地	斜面	台地上	遺構・遺物				主な遺物					
約15, 500年前	縄文時代の開始						集落関係				貝層形態					
	草創期						貝塚		遺構内貝層		貝種		生業・祭祀関係	土器・土製品	礫・石製品	骨角貝製品
	早期		炉穴4基		海進									土器片	焼礫	
前期		住居跡5軒												土器片		
約4, 500年前	中期	加曾利EIV	土坑1基		海退								浅鉢形土器			
	初頭	称名寺I 称名寺II	埋甕1基 住居跡10軒		沼沢地化	集落の開始							石鏃・石皿 磨石・砥石 打製石斧 磨製石斧 軽石製品 チャート原石			
約4, 300年前	後葉	前葉	堀之内1 堀之内2	住居跡60軒・掘立4棟 土坑墓1基・土器棺墓1基	谷部遺物包含層形成開始	斜面整形 ← → 環状集落の展開 中央窪地の削平 → 環状盛土遺構の造成 —土砂と遺物の移動—	貝を伴う盛土の造成 (貝塚)	内湾砂泥・泥質 ハマグリ アサリ等	ウルシ加工	漆容器	骨角貝製品 貝製装身具					
												注口土器				
約3, 800年前	中期	加曾利B1	住居跡10軒・土坑墓2基				第1貝塚・第5貝塚									
		加曾利B2 加曾利B3	住居跡10軒・土坑墓2基 高井東・曾谷			貝塚・盛土範囲に 居住域が重なる 内進性強まる	第2・3貝塚	マガキ	汽水域 ヤマトシジミ	ヒスイ等の攻玉の開始 遠隔地との交易	赤彩土器・山形 土偶・釣手土器 異形台付土器 水差形土器 有孔球状土製品	ヒスイ原石 未成品・玉類	骨角貝製品 骨角貝製装身具			
		安行1 安行2													住居跡4軒・土坑	
約3, 200年前	後葉	安行3a 安行3b・姥山 安行3c・前浦1 安行3d 前浦2	住居跡2軒・墓坑10基 住居跡3軒・掘立1棟 道路状遺構2条			南西斜面の整形と後期斜面盛土の開削 道路状遺構1・水場遺構の構築	SX002 (県セ②)	環境の変化 海退 純貝層	塩づくりの開始と祭祀系 遺物の増加	ミミズク土偶 土製耳飾り 台付鉢・製塩土器 搬入土器(新地式)		中央窪地北側の墓域化 焼獣骨片	遮光器系土偶 土製耳飾り 透かし彫り型 土製耳飾 土版 角底土器 柄杓形土器 人面付土器 東北系土器 (大洞BC式)	玉類 メノウ原石 石棒・石剣 独鈷石・大石		
	後葉	千網 荒海														土器片数点のみ
約2, 750年前～ 約2, 400年前	弥生時代	平安時代	住居跡2軒													
近・現代						環状盛土遺構の破壊(畑地拡大に伴う) 発掘調査及び貝塚の保存(三輪野山4号公園造成・区画整理事業)										



三輪野山貝塚第5地点(MMS 5-3)南西部土層断面合成写真



低地及び斜面部調査空撮(H7年)